

共助による高齢化団地活性化モデル事業について

～高齢化団地に学生と子育て世帯が入居し団地の活性化を目指します～

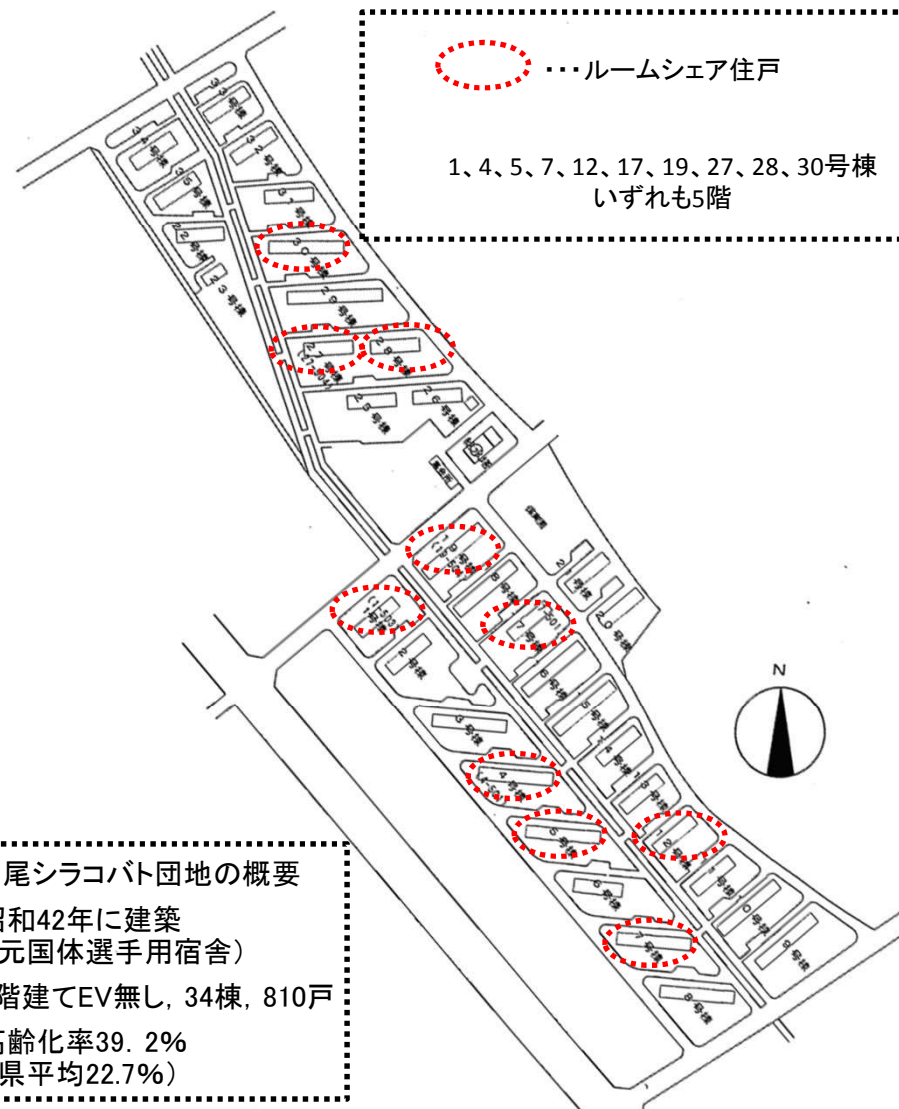
埼玉県 住宅課



特別県営上尾シラコバト住宅団地



案内図（北上尾駅より徒歩15分）



○上尾シラコバト団地の概要

- ・昭和42年に建築
（元国体選手用宿舎）
- ・5階建てEV無し，34棟，810戸
- ・高齢化率39.2%
（県平均22.7%）

配置図

共助による高齢化団地活性化モデル事業について

～高齢化団地に学生と子育て世帯が入居し団地の活性化を目指します～

埼玉県 住宅課

事業概要

○高齢化が進む古い団地の活力を向上させるため、団地の一部を学生と子育て世帯向けの部屋に改修し、若い世代が入居するというモデル事業を実施

○入居する学生や子育て世帯には自治会活動に参加してもらうことで、現在の入居者と共に支え合う「共助」の関係を築き、コミュニティの活性化を図る

学生向けシェアルームに改修 (H26 5戸)

○ 学生が入居して自治会活動に参加



子育て世帯向けに改修 (H26 3戸)

- 学生の感性を活かした改修
- 子育て世帯が入居して自治会活動に参加



【取組の効果】



共助による高齢化団地活性化モデル事業について

～高齢化団地に学生と子育て世帯が入居し団地の活性化を目指します～

埼玉県 住宅課

学生のメリット

- 近隣の相場より安価な家賃で入居が可能
(37,200円/2人 = 18,600円/人 ※共益費 約1,000円/月・室)
- 社会勉強の場になる。
- 他大学との交流になる。
- 家電機器等(エアコン・冷蔵庫・ガスコンロ・照明器具・カーテン等)を予め設置

大学のメリット

- 協定締結式を開催するなどし、メディアに対し大学名や取組を積極的に発信
- 地域貢献の取組として、大学方針などに一致

大学生の力を生かす!
**共助による高齢化団地
活性化モデル**

市内の人口における65歳以上の高齢者の割合は、27年1月1日現在23.7パーセントと年々増加しています。高齢経済成長期に突如とした高齢化団地でも住居の高齢化が速く自治会活動への参加者が減少するなど、地域とのつながりの希薄化が懸念となっていました。

そこで県は、新学元大学(上尾市)、ものづくり大学(行田市)の2大学と団地の活性化推進のため連携協定を締結。学生の力を生かしたコミュニティの活性化を図っています。

**学生向け
ルームシェア住戸**

団地内の空き住戸を、1戸に2人が共同して住めるルームシェア住戸に改修。現在、自治会活動への参加を条件に入居した学生が住んでいます。

3年前に開業された夏祭りに出店し、にぎやかな雰囲気に貢献するなど団地内コミュニティの活性化に一役買っています。

**子育て
世帯向け住戸**

子育て世帯に団地に住んでコミュニティに参加してもらうため、ものづくり大学の学生が企画や設計に参画し、住戸の改修を行っています。

子供の様子を見ながら家事ができるキッチンカウンターや、ベビーカーが置ける収納スペースを玄關に設けるなど、子育て世帯が住みやすいよう工夫しました。

(※記事写真掲載ページ56)

▲学元大学と新学元大学の学生が団地をめぐり
▲学生は改修作業に参画

彩の国だより
2016 1月号
県住宅課 ☎ 048-830-5564 ☎ 048-830-4888

共助による高齢化団地活性化モデル事業について

～高齢化団地に学生と子育て世帯が入居し団地の活性化を目指します～

埼玉県 住宅課

これまでの流れ

H26年度

○協定締結

- ・締結式 平成26年7月18日 知事公館
- ・締結者 聖学院大学 学長 姜 尚中
ものづくり大学 学長 稲永 忍
埼玉県 知事 上田 清司
- ・出席者 シラコバト団地自治会 会長 鵜殿 不盡彦

○ルームシェア住戸改修工事 5戸 完成(H26.9)
学生入居開始(随時)



H27年度
以降

○ルームシェア住戸改修工事 5戸 完成(H27.8)
学生入居開始(随時)

今後の予定

○団地活性化の効果検証

共助による高齢化団地活性化モデル事業について

～高齢化団地に学生と子育て世帯が入居し団地の活性化を目指します～

埼玉県 住宅課

報道関係資料

6 昭和の団地に若者を

学生がリフォーム参加 団地活性化へ

埼玉県、高齢化団地活性化モデル事業の一環として、昭和の団地に若者を呼び込む。学生がリフォームに参加し、団地の活性化を目指す。

昭和の団地は、高齢化が進み、団地の活性化が課題となっている。学生がリフォームに参加し、団地の活性化を目指す。

1

若い世代入居で活気

高齢化の県、2大学と連携

県営団地、若者の入居で活気を取り戻す。2大学と連携し、団地の活性化を目指す。

2

県聖学院ものづくり大 団地活用共助で協定

県聖学院ものづくり大と県が、団地活用共助で協定を結ぶ。団地の活性化を目指す。

3

埼玉モデル構築へ 団地活性化で連携協定

埼玉県と2大学が、団地活性化で連携協定を結ぶ。埼玉モデル構築を目指す。

4

高齢化団地に若年層誘致へ 県と地元大学が連携

県と地元大学が、高齢化団地に若年層を誘致するために連携する。

5

「県営住宅に若者を」 県と2大学が連携へ 高齢化対策へ入居促進

県と2大学が、県営住宅に若者を呼び込むために連携する。高齢化対策として入居促進を図る。

7

県内団地、大学が活気

県内団地、大学が活気を演出。高齢化率4割超の団地に、学生が入居し、団地の活性化を目指す。

県内団地、大学が活気を演出。高齢化率4割超の団地に、学生が入居し、団地の活性化を目指す。

■新聞

- ①H26. 7. 9 埼玉新聞
- ②H26. 7. 19 埼玉新聞
- ③H26. 7. 22 埼玉建設新聞
- ④H26. 8. 5 毎日新聞
- ⑤H26. 8. 8 朝日新聞
- ⑥H26. 8. 16 日本経済新聞(タ刊)
- ⑦H26. 8. 29 日本経済新聞

■テレビ放映

- ①H26. 6. 10 テレビ埼玉(定例記者会見)
- ②H26. 7. 18 テレビ埼玉(協定締結式)

■庁内広報

- ①H26. 6. 12 彩の国インフォメーション
- ②H26. 7. 18 公務フォトアルバム
- ③H26. 7. 25 知事ブログ

※埼玉県ホームページでも随時情報発信 ⑤

共助による高齢化団地活性化モデル事業について

～高齢化団地に学生と子育て世帯が入居し団地の活性化を目指します～

埼玉県 住宅課

大学に行っていただきたいこと

- 埼玉県との協定締結
- 埼玉県との入居条件などの詳細について覚書を締結
- 学生の募集及び推薦(学生の推薦書及び行政財産使用許可申請書の提出)
- 学生の生活に関する指導
- 家賃の徴収、県に納付(毎月末まで)
- 活動計画書及び活動報告書の提出(毎年度ごと)

入居する学生に行っていただきたいこと

- 大学に申込み
- 活動計画書の作成
- 団地自治会に入会
- 出来ることから自治会活動に貢献してもらう(草刈り、防災訓練・お祭りへの協力などを想定)
- 高齢者世帯に元気を分け与える(定期的な声かけ、電球交換、買い物補助、散歩の付き添いなどを想定)
- 毎月に指定された方法で家賃の納付
- 毎年度ごとに活動報告書を提出

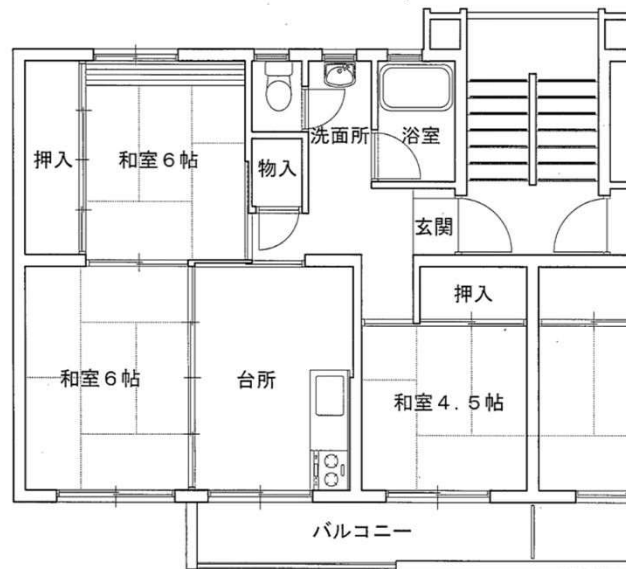
共助による高齢化団地活性化モデル事業について

～高齢化団地に学生と子育て世帯が入居し団地の活性化を目指します～

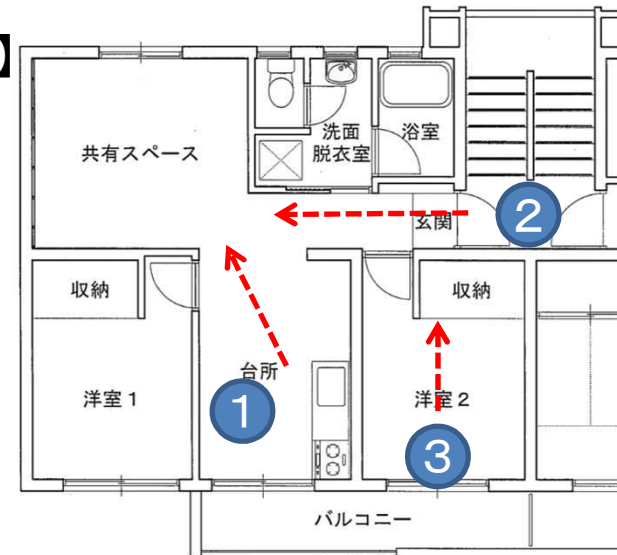
埼玉県 住宅課

ルームシェア住戸改修概要

【改修前】



【改修後】



改修内容

場所 : 5 階

広さ : 48.18 m² (14.6 坪)

改修内容:

DK+和室 ⇒ LDK

床、壁、天井のリニューアル

1

LDKイメージ
キッチンから



2

LDKイメージ
入口から



3

個室イメージ
収納部分



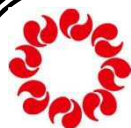
⑦

共助による高齢化団地活性化モデル事業について

～高齢化団地に学生と子育て世帯が入居し団地の活性化を目指します～

埼玉県 住宅課

問い合わせ・ご要望連絡先



埼玉県 都市整備部 住宅課

【全般的な問合せ】
＜総合窓口＞

企画担当 048－830－5571
a5550-07@pref.saitama.lg.jp

【入居・家賃に関する事】

県営住宅管理担当 048－830－5564

【工事に関する事】

住宅経営担当 048－830－5569

【共通】

F A X 048－830－4888

埼玉県住宅課HP <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/kyojo/>

住 所 : 〒330－9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

ルームシェア住戸 内観

